

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 旭有機材株式会社

コード番号 4216 URL <https://www.asahi-yukizai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中野 賀津也

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部長 (氏名) 馬崎 圭史 TEL 03-5826-8820

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	43,844	22.0	8,291	55.3	8,560	46.6	5,471	43.5
2023年3月期第2四半期	35,938	22.1	5,339	114.2	5,839	121.7	3,813	112.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 6,950百万円 (27.7%) 2023年3月期第2四半期 5,442百万円 (151.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	285.55	—
2023年3月期第2四半期	199.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	95,586	67,365	69.8	3,480.66
2023年3月期	86,256	61,179	70.3	3,163.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 66,718百万円 2023年3月期 60,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2024年3月期の配当予想につきましては、本日（2023年10月31日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	11.5	14,500	21.4	14,800	21.9	10,000	6.1	521.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 7 「（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	19,800,400株	2023年3月期	19,800,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	632,096株	2023年3月期	642,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	19,159,595株	2023年3月期2Q	19,155,612株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年11月29日（水）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における市場概況については以下の通りです。

管材システム事業においては、基幹製品に関連する国内の設備投資は、全体として堅調に推移しました。海外においては、半導体関連の工場建設需要が引き続き伸長した一方で、ダイマトリックス製品に関連する半導体製造装置市場においては、前年度後半から引き続き需要が減速しました。

樹脂事業においては、電子材料製品に関わる半導体デバイス市場にて、前年度下期後半からの市場停滞が引き続き需要が減速しました。素形材製品に関連する市場の国内自動車生産は、海外からの部品供給調達難が解消傾向にあり、また半導体不足の影響も徐々に改善され前年を上回る台数となりました。発泡材料製品に関連する国内の建築着工についても前年に比べ増加しました。

こうした経営環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は43,844百万円(前年同期比+22.0%)となり、営業利益は8,291百万円(前年同期比+55.3%)、経常利益は8,560百万円(前年同期比+46.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5,471百万円(前年同期比+43.5%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 管材システム事業

管材システム事業は、主力製品の樹脂バルブを軸に樹脂管材市場を拡大することを基本戦略としています。また、耐食問題の解決と樹脂管材の機能性を追求した製品開発によりお客様のお役に立ちに注力した営業活動を推進しています。

樹脂バルブ等の基幹製品の販売は、引き続き半導体関連の大型工事案件に支えられ堅調に推移しました。樹脂配管材料等を用いたエンジニアリング事業についても堅調に推移しました。その結果、国内の売上は前年を上回りました。

海外では、米国、中国において、主に半導体を中心とした電子関連産業の工場建設に関わる設備投資に伴う好調な需要が継続したことや、円安の影響もあり売上は前年を上回りました。

半導体製造装置向けのダイマトリックス製品は、韓国における需要停滞の継続、米中摩擦による中国での投資遅延の影響により、売上は前年を下回りました。

利益面においては、人件費の増加や原材料価格高騰の影響があったものの、主に海外で売上が増加したことに加え、円安の影響もあり前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は29,742百万円(前年同期比+30.5%)、営業利益は7,633百万円(前年同期比+51.1%)となりました。

② 樹脂事業

自動車や建設機械等に必要の鋳物製造に用いる素形材料製品では、お客様の製造品質や生産性の向上、臭気低減による作業環境の改善など、多様な鋳造工程に最適な製品を提案することでお客様へのお役に立ちに取り組んでいます。新規のお客様への営業活動を積極的に行ったことや、自動車生産台数の回復に伴い販売が堅調に推移したことから、売上は前年を上回りました。

発泡材料製品は、現場施工により最終製品となることから、施工のしやすさに加え施工後の品質向上に取り組むことで、お客様への安心・安全の提供に取り組んでいます。現場発泡断熱材においては、ビル・マンション等の断熱施工案件に対して製品の設計折込みに注力し、またトンネル掘削用の土木材料においては、施工現場に適した製品や工法の提案に積極的に取り組み、売上は前年を上回りました。

電子材料製品は、半導体デバイス用途となる最先端の半導体に必要な電子材料の低メタル化精製技術を追求し、半導体の高度化に貢献しています。半導体デバイス需要の停滞と販売先における在庫調整の影響を受け、売上は前年を下回りました。

利益面においては、電子材料製品は前年を下回りましたが、素形材製品や発泡材料製品においては利益が増加し、樹脂事業全体では前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は10,731百万円(前年同期比+11.1%)、営業利益は663百万円(前年同期比+199.6%)となりました。

③ 水処理・資源開発事業

水処理事業は、お客様のニーズに基づいた水処理設備や、水資源を有効に活用できる水再生システムの設計・施工を行っています。官庁及び民間工事は共に、工事完工件数の増加や工事が順調に進捗したことにより売上は前年を上回りました。

資源開発事業は、再生可能エネルギーである地熱発電の蒸気井などの掘削工事や温泉開発工事を行い資源の有効活用に貢献しています。温泉開発工事においては延期されていた案件が順調に進捗しました。一方で地熱掘削工事は案件の延期により、売上は前年を下回りました。

メンテナンス事業及び環境薬剤事業は、施設や設備の安定稼働のためのサービスや水処理薬剤を提供することでお客様へのお役に立ちに注力しています。メンテナンス事業は、計画通りに維持管理、修繕工事案件が進捗し、売上は前年を上回りました。環境薬剤事業は製品出荷量が増加したことにより売上は前年を上回りました。

利益面においては、水処理事業における官庁・民間工事、温泉設備工事及び環境薬剤事業の売上が増加したことにより前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は3,371百万円(前年同期比△3.4%)、営業利益は26百万円(前年同期比+20.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は95,586百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,330百万円増加しました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産や棚卸資産などの流動資産の増加によるものです。負債は28,221百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,144百万円増加しました。これは主に短期借入金などの流動負債の増加によるものです。純資産は67,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,186百万円増加しました。これは主に利益剰余金や為替換算調整勘定の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日に公表しました業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「2024年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,928	14,810
受取手形、売掛金及び契約資産	15,973	18,260
電子記録債権	5,597	6,712
棚卸資産	18,977	22,276
その他	1,303	1,011
貸倒引当金	△59	△67
流動資産合計	55,720	63,002
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,822	6,915
その他(純額)	14,106	15,914
有形固定資産合計	20,927	22,828
無形固定資産		
のれん	909	864
その他	1,467	1,687
無形固定資産合計	2,376	2,550
投資その他の資産		
投資有価証券	3,028	2,954
退職給付に係る資産	2,393	2,386
その他	1,832	1,884
貸倒引当金	△21	△18
投資その他の資産合計	7,232	7,206
固定資産合計	30,536	32,585
資産合計	86,256	95,586
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,255	7,602
電子記録債務	4,434	4,490
短期借入金	2,022	3,000
未払法人税等	1,951	2,429
その他	5,104	5,550
流動負債合計	20,765	23,071
固定負債		
長期借入金	203	—
退職給付に係る負債	1,888	1,901
株式給付引当金	59	67
役員株式給付引当金	152	151
長期前受金	549	1,365
その他	1,460	1,665
固定負債合計	4,312	5,150
負債合計	25,077	28,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,574	8,574
利益剰余金	45,032	49,729
自己株式	△1,166	△1,145
株主資本合計	57,440	62,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	800	744
為替換算調整勘定	2,547	3,944
退職給付に係る調整累計額	△174	△128
その他の包括利益累計額合計	3,173	4,560
非支配株主持分	566	646
純資産合計	61,179	67,365
負債純資産合計	86,256	95,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	35,938	43,844
売上原価	22,074	25,657
売上総利益	13,864	18,188
販売費及び一般管理費	8,524	9,897
営業利益	5,339	8,291
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	82	64
為替差益	375	136
不動産賃貸料	49	49
その他	38	47
営業外収益合計	552	305
営業外費用		
支払利息	11	5
不動産賃貸費用	12	11
出資金評価損	8	4
その他	22	15
営業外費用合計	53	36
経常利益	5,839	8,560
特別利益		
固定資産売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除却損	2	5
固定資産売却損	0	—
投資有価証券売却損	—	0
事業構造改善費用	—	19
特別損失合計	3	24
税金等調整前四半期純利益	5,836	8,542
法人税等	2,005	3,025
四半期純利益	3,831	5,517
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,813	5,471

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,831	5,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△371	△51
為替換算調整勘定	1,999	1,438
退職給付に係る調整額	△17	46
その他の包括利益合計	1,611	1,433
四半期包括利益	5,442	6,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,382	6,858
非支配株主に係る四半期包括利益	60	92

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	水処理・資源 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,787	9,661	3,491	35,938	—	35,938
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注) 2	78	1	1	80	△80	—
計	22,865	9,662	3,491	36,018	△80	35,938
セグメント利益(営業利益)	5,050	221	22	5,293	46	5,339

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額)であります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	水処理・資源 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,742	10,731	3,371	43,844	—	43,844
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注) 2	113	2	2	116	△116	—
計	29,855	10,733	3,373	43,961	△116	43,844
セグメント利益(営業利益)	7,633	663	26	8,322	△31	8,291

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額)であります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。